

高 梁 市
議 会
だ よ り

第26号
2016年5月

岡山県立高梁城南高等学校デザイン科2年 岡本咲奈さん作品〔転載禁止〕

特集

3月定例会開催

委員会報告

一般質問ここが聞きたい！

図書館の議論が白熱！

定林寺
JORINJI

⑦ ⑤ ②

図書館に関する議論が白熱！

3月定例議会開催

3月2日～18日

平成28年第2回高梁市議会（定例）は、3月2日から18日まで行われ、市長提出の議案79件すべてを承認、可決し、追加提出の議案も1件を可決、1件を適任と決しました。市民団体などから議会に寄せられた請願1件、陳情1件については、いずれも不採択とし、前回から継続審査となっていた陳情1件についても不採択としました。



高梁市立図書館 関連議案の是非を問う

— 3名の議員が一般会計予算の修正案を提出 —

今議会では、建設中の新図書館の名称やカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）への指定管理者の指定、関連する予算の議案が提出され、質疑では多くの質問が出されました。指定管理者として名前が挙がっているCCCは、「Tポイント」の運営や、ビデオレンタル、書店などの事

業を行っています。公立図書館の運営管理は、高雄市、海老名市、多賀城市に続き、高梁市が4番目の図書館になります。

新図書館については、計画が策定されて以降、多くの議員が様々な観点から一般質問を行いました。委員会審査でも時間をかけて詳細審査が

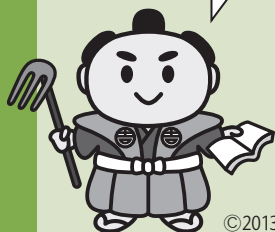
なされました。議会最終日に行われた討論では、反対討論を宮田公人・大森一生・妹尾直言・石部誠の各議員が、賛成討論を石田芳生・石井聡美・宮田好夫・森田伸一の各議員が行いました。

また、CCCを指定管理者とした新図書館関連予算は認められないとして、宮田公人、妹尾直言、柳井正昭の3議員から一般会計予算に含まれる、新図書館関連予算など3億3000万円余りを削減した修正案が提出されましたが、採決の結果、賛成5、反対14で否決されました。



指定管理者制度とは？

地方公共団体が、公の施設の運営を営利企業やNPO法人などに代行させることができる制度。民間の手法を用いて、弾力性や柔軟性のある施設の運営が可能になります。



©2013 中井町ほうこくん #0021



図書館関連の議案

議案第4号「高梁市複合施設条例」

JR備中高梁駅西口に、バスセンターと新図書館を併設する複合施設を設置するもの。

議案第28号「高梁市立図書館条例の一部を改正する条例」

- ①新図書館の名称を高梁市立高梁中央図書館から高梁市図書館に変更するもの
- ②新図書館の管理を教育委員会が指定するものに行わせることができるもの。

議案第48号「高梁市立図書館の指定管理者の指定について」

新図書館の指定管理者をカルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社指定するもの。

議案第64号「平成28年度高梁市一般会計予算」

新図書館の空間創出業務委託料(2億520万円)や図書館移転・開設準備業務委託料(7230万円)、施設指定管理委託料4カ月分(5328万円)が含まれている。

賛成討論

- あらゆる世代の居場所、育児や生涯教育の核になる施設を駅横に置いて民間のノウハウで運営すれば、市中心部のさらなる活性化が期待できる。
- 複合施設は物品購入や雇用により7億円の経済効果が期待されている。
- CCCはマーケティングの専門家。住民ニーズをすくい上げ、市民に提供されることを期待できる。
- 指定管理料は直営より約1000万円(年間)安いと試算も示され妥当と考える。
- 他市で発生した事例は、準備不足や協議不足であったと考えられ、十分な協議を行っている高梁では発生しないと確信している。
- 執行部はこれまで節目、節目に議会に説明し質問・意見を聞いている。
- 市民アンケートやワークショップなどで出た意見・要望も反映されている。

反対討論

- 安易な計画策定や透明性の無い計画遂行では若い世代に負担を負わせることになる。この計画は身の丈を超えたもので賛成できない。
- 中央図書館という名称は、合併協議会で各地域の図書館や図書室を統括する意味が込められている。なぜ名称を変更するのか納得がいかない。
- 独自調査では、株式会社図書館流通センター(TRC)は同程度のサービスでCCCより指定管理料が5年間で1億2000万円余り安い。管理者は公募で決定すべきだ。
- CCCが管理している他の図書館では不適切な運営や管理などから訴訟や住民投票が行われている。公共性が担保されるのか疑問だ。
- CCCは経験が少なく、図書館運営の理念を語っていない。訴訟問題も発生している。市民合意が出来ていないし、専用の駐車場もない。市は今一度立ち留まって考えるべきである。

平成28年度 一般会計予算のポイント

歳入では、地方譲与税や地方消費税交付金は増加見込みですが、地方交付税は合併特例措置が終了し段階的な縮減により減額見込みです。

歳出では、少子高齢化の進行などに伴い、社会保障費が伸びています。公共施設の更新経費も増額見込みです。

このような状況から本市の財政は引き続き厳しい状況にあります。

■歳出の内訳

扶助費25億2293万円（3・

7％、8912万円の増）は、障害福祉サービス給付費、生活保護扶助費などが増加しています。

物件費36億7900万円（1・

8％、6452万円の増）には、新図書館整備の空間設計、移転費、指定管理料4カ月分などが予算化されています。

繰入金28億70万円（8・4％、2億1737万円の増）には、企業用地造成を行うため地域開発事業特別会計への繰出金の増加があります。

普通建設事業費42億7800万

円（11・8％、5億7451万円の減）は、複合施設、街路事業、旧吹屋小学校などの事業費が終了したため昨年よりも減少しています。

■主な事業

神原スポーツ公園改修

2億7317万円

救助工作車の更新

1億2460万円

防災ラジオの整備

1億1157万円

旧川上中学校跡地の整備

1億114万円

！トピックス

高梁市国民健康保険
特別会計に
法定外繰り入れを行う

法定外繰り入れとは、本来保険

料で賄うべき支出の一部を一般会計から繰り入れることです。平成27年度の保険給付費は1人あたり約38万3000円となり、決算では2億7000万円余りの赤字見込みとなりました。このため、新保険料では加入者負担分を5％程度引き上げるとともに、財政調整基金から2230万円を繰り入れ、初めて法定外繰り入れを3000万円することになりました。

！水道事業の統合は延長

平成29年に統合という答申が出ていた上水道と簡易水道ですが、統合は3年間延長されました。また、簡易水道の高料金対策や建設改良に対する国の助成が10年間延

長されることになりました。統合後の新料金は、新たに考えることとなり、急激な引き上げは当面回避されました。

！一部診療所の体制を変更

これまで高梁市へき地診療所であった備中診療所と平川診療所を高梁市国民健康保険成羽病院の附属診療所としました。

！学童保育の統合
定員増員と新設

高梁学童保育の定員が80人に増え、高梁東学童保育が廃止されました。また、落合学童保育の定員が70人に増えました。福地学童保育が新設されたことで、高梁市のすべての地域に学童保育が設置されました。

※（ ）は前年度比

3月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○賛成 ●反対

件名	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田好	小林	柳井	川上修	長江	植田	川上博	宮田公	大月	妹尾	難波
高梁市複合施設条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	●
高梁市立図書館条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	●
高梁市立図書館の指定管理者の指定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	●
平成27年度高梁市一般会計補正予算(第5号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
平成28年度高梁市一般会計予算(修正案)	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	○
平成28年度高梁市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	●
平成28年度高梁市国民健康保険特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
消費税増税に反対する意見書を国へ提出するよう求める請願	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
新しい高梁中央図書館の管理運営について再検討を求める陳情	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	○
朝霧温泉ゆ・ら・らの行政対応について第三者による検証実現の陳情書	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	●

◎他の議案は全会一致で可決しました。

総務文教委員会

「高梁市立図書館条例の一部を改正する条例」

「図書館名称は議論がな
いまま進められた。名は体
を表す。理念の感じられな
い名称変更」に反対、「誰が
指定管理者になっても中核
図書館としての機能充実は
必要。中央の文字は残すべ
き」などの意見が出され、
採決の結果は可否同数とな
り、委員長裁決により原案
のとおり可決されました。

「高梁市立図書館の指定管
理者の指定について」

反対意見としては「CCC
Cは図書館運営の経験が少
ない。時間の経過とともに
様々な問題が明らかになっ
てきた会社は指定管理者と
認められない」、「CCCか
ら具体的な提案がなされて

いないのが現状。新図書館
は駅に直結。高梁市の歴史・文化の強みを生かすた
めに全国公募を求めている。賛成意見として、「高
梁市の課題解決の1つとし
てCCCを選定。図書館運
営の主体は教育委員会にあ
り、CCCの活動も十分担
保できるので賛成」などの
意見が出され、採決の結果
は可否同数となり、委員長
裁決により原案のとおり可
決されました。

「消費増税に反対する意
見書を国へ提出するよう求
める請願」

委員から「暮らしや地域
経済を守るため採択すべ
き」とありましたが、採決
で不採択となりました。

「新しい高梁中央図書館の
管理運営について再検討を
求める陳情」

「再検討を求めるとある
が趣旨は直営を求めている
今後の図書館の具体的な記
述がなく不採択」、「管理運
営は広く市民に聞くべき。
指定管理者や図書館長の公
募など再検討を求め採択す
べき」などの意見が出され
採決で不採択となりました。

「平成28年度高梁市一般
会
計
予
算」

「CCCを指定管理とし
た空間創出業務委託料や、
マイナンバー制度に関わる
予算が計上されているので
反対」といった意見があり、
採決で原案のとおり可決さ

産業経済委員会

「高梁市備中高梁駅前広場条例」

駅東西に新たにできる広場の利用は市民にわかりやすく、安全が確保できるように管理を求める意見が出されました。

設は、早期に見直し、整理を求めるとい意見が出されました。

「平成28年度高梁市一般会計予算」

「財産の譲渡に関し議会の議決を求めることについて」
本来の用途目的が終わった施

実質公債費比率が健全であれば、市民要望に応える強力な予算対応に今後期待するといった意見が出されました。

市民生活委員会

「平成27年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」及び「平成28年度高梁市一般会計予算」

「マイナンバー制度は市民にほとんど利益がなく個人情報情報の流失などが危惧される。これが含まれる予算に反対する」という意見が出されましたが、採決で原案のとおり可決されました。

「平成28年度高梁市国民健康保険特別会計予算」

「一般会計からの法定外繰り入れを行うものの、国保税は約5%引き上げられ反対する」という意見が出されましたが採決で原案のとおり可決されました。



管外行政視察についてきました！

議会運営委員会・議会活性化特別委員会
合同管外行政視察

1月27日
岡山県備前市・兵庫県宍粟市

議会運営委員会と議会活性化特別委員会は合同で、備前市と兵庫県宍粟市へ視察に行きました。

行えるのではと感じました。

備前市では議会運営に

宍粟市での議会報告会は、子育て世代を対象とした会場で、託児サービスを行うなど、きめ細かい配慮が行われていました。

ついて質問し、一般質問の締め切りが議案の上程後となっていて、議案に対する中身の濃い質問が

後となっていて、議案に対する中身の濃い質問が

議会広報調査特別委員会
管外行政視察

2月16・17日
東京都町田市・埼玉県狭山市

町田市は、本会議と委員会をインターネットで中継。生中継と録画が議会ホームページから視聴できます。議会録画は24時間以内に公開、議案のカルテとして委員会審査の質疑・応答、討論内容、議決結果などをいち早く

ホームページに掲載するよう努力されました。狭山市は、議会が独自番組をインターネットで配信しています。番組制作では、詳細な計画立案と調整が必要で、ネット配信や映像制作に精通した人材が必要だと感じました。



植田 近藤市長は、新市の首長として様々な課題に取り組みましたが、なお多くの政治的課題が山積している。この秋の高梁市長選挙にどう臨まれるのか。

市長 私が市政を担当し2期8年になろうとしているが、高梁全体を見渡すとき、まだ多くの課題が残っていると認識している。今後の方向性をしっかり打ち出し、着実かつ積極的に進める覚悟であり、次期市長選挙に立候補する決意だ。

植田 3度立候補されるということであり、続投に期待申し上げたい。今後、地方分権が進む中で高梁市の基本政策をどこに置き、取り組んで行くのか。

市長 やはり、財源を確保しなければ事は成せない。「入りを量りて出づるを制す」という言葉があるが、まさに山田方谷先生の理財論にも通ずるものと思う。



また、「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」を中心に人口減少を抑えるために地域と行政がしっかりと連携することが大切だ。そうすれば、必ず高梁市が注目され、多くの方においでいただき、また住み続けていただけるものと考ええる。そういったことを最重点に全身全霊を懸けてやらせていただきたい。

Q. 市長選への出馬の意思を問う

A. 全身全霊をかけてやらせていただきたい



ここを聞きました

植田二郎

●近藤市長の政治姿勢を問う

Q. 夜間人口に比べ約2000人多い昼間人口に焦点を当てた定住対策をすべきでは

A. アンケート調査でニーズを調査し、施策を展開している



ここを聞きました

宮田好夫

- 暮らしを支える仕組みについて
- 国保の広域化について
- 定住促進について
- LED防犯灯設置事業について

宮田 本市の特徴は夜間人口より昼間人口が2000人多いことである。ここに注目し定住していたためのニーズ調査を行うべきではないか。

市長 平成22年の国勢調査では、通勤・通学などで、毎日3000人が市外に出て、市外から5000人が来ている。通勤圏の事業所を対象にアンケートによるニーズ調査を実施している。

宮田 アンケート結果にある生活環境（利便性）やレジャー施設の充実などは難しい課題だが、子育て環境の充実や土地購入や家の建設への助成、家賃補助などは、ここ数年で充実して来た。もっと積極的にアピールすべきではないか。

市長 高梁の子育て施策を目に見える形で制作した、子育て応援ド



高梁市役所4階の住もうよ高梁推進課の窓口

ラマ「さくらとあゆ」を市外にもアピールできるよう働きかけていく。また、各企業を訪問し情報提供を行っていくなど、高梁の良さをしっかりPRし、定住につなげていきたい。

- Q.** 120名もの市の職員が市外へ居住し通勤している、この状況をどう考えるのか
- A.** 職員としての自覚と立場をしっかりと考えるよう伝えている



黒川康司

ここを聞きました

- 定住促進について
- 備中診療所及び平川診療所の運営について
- 病後児保育事業について

黒川 定住促進は、総合計画の中で最も重点を置いたプロジェクトだが、120名もの市職員が市外へ居住し通勤している。このことを市長はどのように捉えているのか。

市長 居住の自由は保証されており、また様々な事情があることも承知している。強制はできないが、市の職員としての自覚と高梁市が置かれている立場をしっかりと考えるよう伝えている。

黒川 備中診療所及び平川診療所については、旭川荘が指定管理者となり運営されてきたが、平成28年3月をもって撤退すると聞いている。今後どのように医療提供を行っているのか。

市長 4月からは、成羽病院の施設として市が直接運営していく。

また、両診療所を合わせて年間8000人もの患者さんが受診されている。今後、医師、看護師などの職員を配置し従来通り医療提供を行っていく。

黒川 平成28年度からの新規事業である病後児保育事業の実施場所及び内容はどのようなものか。

健康福祉部長 子どもを生み育てやすい環境整備充実のため従来から検討してきた。具体的には、子どもさんの病氣、例えばインフルエンザなどにおいて、その回復期に保護者の方が就業しなければならなくなった時などに対応できるようにこの事業を実施する。場所については、現在検討中である。

- Q.** 工事の状況を動画映像として保存活用してはどうか
- A.** 記録保存は重要と考えている。関係部署と連携し、対応したい



森田仲一

ここを聞きました

- 旧吹屋小学校整備事業について
- 地域の食と農業、景観を生かした観光戦略について

旧吹屋小学校保存整備工事の映像保存をしてはどうか

森田 保存整備後には、国の重要文化財の指定を目指すとして、今年度から工事が始まっているが、整備工事の重要な部分については、動画資料で保存し、重要文化財指定並びに観光振興に活用してはどうか。

教育次長 映像での記録保存は市にとっても重要であり大切なことだと考えている。関係部署と連携し対応していきたい。

国の重要文化財指定については地域一体で申請してはどうか

森田 吹屋地域には銅の生産を基とした、ベンガラ製造を手掛けられ国の登録有形文化財に指定されている西江邸をはじめ、多くの国

及び市指定の文化財および遺産がある。国指定の申請に当たっては地域一帯で行ってはどうか。

教育次長 銅とベンガラは吹屋の歴史であると認識している。しかし重要文化財指定の基準は建築物単体で指定を受けるというのが基本原則であり、今回の国の重要文化財指定申請については困難であると思っている。

「食と農業、景観を生かした観光戦略」を進めてはどうか

森田 平成28年度において国が検討している観光戦略を進めてはどうか。**産業経済部長** この戦略については、インバウンド観光に向けての戦略と考えている。今後高梁川流域経済成長戦略会議に提案していきたい。

市民の暮らしと健康を守る 国保の運営について

難波 国保の県単位化（統合）が一年延期となった。この際、市民の声が届かなくなる単位化は中止を求めよ。

健康福祉部長 単位化の延期は消費税の引き上げ延期と関係している。これは国と県で協議してきた結果であり流れは止められない。

難波 市民の暮らしは大変厳しい状況だ。国保税の引き下げを求める。

健康福祉部長 被保険者が減少しているが一人当たりの医療費は伸び続けており5%の引き上げを行った。

難波 子ども医療費無料化に対する国保への国の負担金減額措置（ペナルティー）をやめるよう求め

市長 本市の子供医療費は18歳まで無料としている。これに対して国の負担金カットを受けている。こういった方策があるかも含め、改善をねばり強く国に申し入れをする。

高齢者の命綱である 介護保険について

難波 国の法律改正で要支援者は給付サービスから除外されるが、高齢者が必要なサービスを受けられないことが無いよう対応を求める。

健康福祉部長 要支援サービスについては新しい介護予防総合事業で行われる。サービス利用に当たってはケアマネージャが中心となり本人の希望や主治医の意見をもとにサービスを行う。

- Q.** 国民健康保険税の引き上げをしないよう求める
- A.** 医療費の増加により基金や一般会計からの繰入金で税額を抑えている



ここを聞きました

難波英夫

- 市民の暮らしと健康を守る国民健康保険の運営について
- 高齢者の命綱である介護保険について
- 農林水産物に対するTPPの影響とその対策について
- 市の道路管理、河川管理について

- Q.** 備中中学校の統廃合について
- A.** しっかり話し合いをしたい



ここを聞きました

川上修一

- 備中中学校の統合について
- 有害鳥獣駆除について
- 県道新見川上線について

市長は適切な判断を

川上 備中中学校の統廃合については今年の1月、統合する旨の回覧で初めて地域住民が統廃合の事実を知らされた。教育長は統合する場合、歴史的経緯経過があり、保護者や地域住民と協議し理解と同意を得た上で進めていくと発言されている。しかし、このような対応で保護者や地域住民の理解が得られなかった場合、市長は住民が納得できるよう適切な政治判断をすべきではないか。

市長 教育委員会は、地域、保護者との対話を通して理解しあうことが大切であり、コミュニケーションが不足していたと反省している。しっかり話し合いをしていただき、そのうえで行政判断をさ

せていただきたい。

有害鳥獣対策を

川上 有害鳥獣については年々被害が拡大しているが、市としてどのように対応するのか。

産業経済部長 有害鳥獣については、防護、追い払い、駆除を基本として対応し、補助金等の交付も行っている。

道路改良を早急に

川上 県道新見川上線について、高梁分の改良が大幅に遅れているがどのように対応するのか。

産業経済部長 布瀬の両側から早急に改良をし、地域の安心・安全に努めていきたいと考える。

- Q.** 備中中学校と成羽中学校の統合と地域との懇談会の予定・跡地利用について
- A.** 住民の意見を聞き、教育委員会の考えを説明する。跡地利用は地域と意見を交わし決める



長江和幸

ここを聞きました

- 備中中学校、成羽中学校統合について
- 教育施策について

——統合校名を高梁西中学校に

長江 平成29年度の統合時の学校名については、将来の川上中学校との統合を視野に入れ、高梁西中学校とすべきではないか。

教育長 議員の意見も参考とし今後検討する。

長江 支援を必要とする生徒への対応はどうするのか。

教育長 特別支援学級で統合までに生徒同士の交流活動をしつかりと行い人間関係づくりを進める。

また両校の教員が情報交換や指導の連携を図りスムーズに学校生活に溶け込めるよう支援体制づくりを行う。また、市独自の支援員を配置して、個々に応じたきめ細やかな支援を行いたい。

長江 懇談会へ教育委員も出席す

るべきではないか。

教育長 これまで学校統合については教育委員会で協議をし方針を決定している。今後、ご意見を参考に検討する。

長江 生まれ育った環境によって暮らした将来が左右される「子ども」の貧困が深刻化している。経済格差は教育格差を生み、負の連鎖も指摘されている。貧困が子どもに与える影響で一番大きなものは教育である。対応を聞く。

教育長 小・中学生には就学援助制度、高校・大学生については奨学金貸付制度があり、個別支援や補充学習に努めている。

- Q.** CCC関連訴訟、住民投票が武雄市などで起きている。そのような相手を公共図書館の指定管理者として選定してよいのか
- A.** 違法行為が確定していなければ大丈夫。市が選定すれば公共性も担保される



大森一生

ここを聞きました

- 今の行政に求められる公共経営論とリーダーシップ論について
- 新図書館を核にした駅前複合施設の指定管理と地域創生について

新図書館を核にした駅前複合施設の指定管理と地域創生について

大森 これまでの議会等でCCCのライブラリー&カフェを中心にした空間の演出、にぎわい、交流人口の創出の効果、実績はわかった。高梁市においての公共図書館の本質的役割である情報リテラシーや公教育、生涯学習の補完としての具体的提案、実績としてはどのようなものがあるのか。

教育次長 CCCからは高梁市の（管理者選定の決め手となった行政課題解決のための提案をいただいているが、実際にはそのような実績が（他地域で）あったかどうかは詳細には確認はしていない。しかし、総合戦略、図書館基本計画に沿った小・中・高・大連携、

子育て支援、農業支援などの提案をいただいている。市も知恵を絞ってCCCに協力していく。

大森 TRCから同じ条件、サービスでCCCより5年間で1億2500万円（人件費、ロイヤルティの合計）安くできる提案をいただいている。また、市の総合戦略に基づいた実績のある具体的提案もある。公共施設は住民福祉の増進が第一義。市長がCCCを管理予定者として選定した時点ではこのような状況になることはわからなかったかもしれないが、市民にとって、その選択の機会損失は大きい。ここは改めてCCCも含めて公募にすべきではないか。

教育次長 指定管理料に多少疑念があり、調査したが高くなかった。CCCの本市の行政課題解決のための提案が大きな決め手になった。

※1 情報リテラシー……情報を十分に使いこなせる能力。大量の情報の中から必要なものを収集し、分析・活用するための知識や技能のこと。
 ※2 TRC……株式会社図書館流通センターの略称。図書館向け書籍販売、全国で公立図書館、大学図書館含め400館以上の管理業務を受託している最大手。
 ※3 機会損失……意思決定にあたって2つ以上の案があった場合、そのうちの1つを採用し、他を不採用にした場合に、得ることができなかった収益または利益の最大のものをいう。

石井 図書館の目的の中に、にぎわいの創出がある。これは図書館の利用者増だけでなく、周辺部の経済的な浮揚効果も目的としているはずである。自家用車と公共交通の連携も含め、駅前振興をどう考えているか。

市長 市内循環バスや備中松山城への登城バスの充実を考えている。駅前にとどまらず、小さな拠点を連携することで、人の動きを創出していきたい。駅周辺の駐車場の必要性は認識している。「まち・ひと・しごと総合戦略」はソフト事業だが、それに付随するハード計画を具体化するためのロードマップを示していく。

石井 これからは歩いて生活できることが街の魅力となる。歩く街づくりで回遊性を高めるべきではないか。



次第に全容が見えてきた駅前複合施設

市長 近くまでは車で来て、そこから公共交通や徒歩で目的を達成していただく姿が望ましいと思う。今は市内循環バスが日曜に走っていないが、これを日曜にも利用できるようにすることを案として考えている。

Q. 駅前複合施設のオープンに伴う振興策は

A. 民間のリスクを最小限にするよう支援する



ここを聞きました

石井聡美

- 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略について
- 子育て、教育支援について
- 駅前の振興について

Q. 旧「ゆ・ら・ら」を団体客の食事場所にできないか

A. 暫定利用も含め、商工会議所・商工会などと検討する



ここを聞きました

大月健一

- 公図の赤線、青線について
- 行政防災無線システムについて
- 災害箇所の総点検について
- 市の教育方針について
- 観光客のおもてなしについて

「観光客のおもてなしについて」

大月 今や天空の城と吹屋ふるさと村で多くの観光客が訪れているが、食事をする所がない。旧「ゆ・ら・ら」を団体客の食事場所にできないか。また、道の駅のような特産品販売施設にできないか。

市長 市外の色々な施設を見られてのご提案に感謝する。商工会議所等からも道の駅についてのご意見をいただいているが、こうした施設は民間主導で運営して行政が支援していくべきものと考えている。また、人の流れをつなぐ場所でなければならぬ。大勢が入れる食事場所や特産品販売施設は、滞在時間を増やし消費拡大に期待できる施設と考える。旧「ゆ・ら・ら」施設の暫定の利用も含め、商

工会議所・商工会などと検討していきたい。

「行政防災無線システムについて」

大月 市は防災ラジオ整備を予定しているが、費用が高くても市民によく伝わる屋外スピーカーの防災無線にはどうか。

総務部長 屋外スピーカーは津波などの緊急時には有効だが、高梁市は集落が点在し、とりわけ山間部では伝達が難しい。全市的な無線整備は十数億円が必要で、ラジオなら全体で3億円と試算している。経費が少なく効果の高いラジオの整備を進めていきたい。

- Q.** 旧「ゆ・ら・ら」に宿泊機能を付加し再生を
A. 基本的には売却による施設活用を考える



宮田公人

ここを聞きました

- 人口減少を見込んだ行財政運営のあり方について
- 高梁市の目指す図書館像と高梁市駅前ライブラリー＆カフェ計画との整合性について
- 地域の特性を生かした旧「ゆ・ら・ら」の再活用方法について

高梁市の財政見通しについて

宮田 高梁市の中期財政見通しのシミュレーションにおいて、新設した場合30億円はかかるといわれる焼却炉新設の費用は組み込まれているのか。

総務部長 シミュレーションの中に、ごみ処理施設新設にかかる経費は計上していない。

宮田 平成35年には総基金残高が平成26年対比で47・7%の減少となる。貯金が半分に目減りすることをどう考えるか。

総務部長 財政運営、市民生活に影響を与えないよう維持していきたい。

旧「ゆ・ら・ら」再生について

宮田 神原スポーツ公園エリアは、



福祉施設、旧「ゆ・ら・ら」本体、宿泊施設の神原荘、そしてスポーツ公園、これらの施設が関連し合いつながりながら機能し交流人口を生み出している。このような現状を考えると、旧「ゆ・ら・ら」の隣接に宿泊棟を建設し、神原荘の宿泊機能を移転する形で再生をかけることを提案する。

市長 基本的には売却による施設活用を考えている。民間の力による活用をもう一度探りたい。

- Q.** 図書館サポーターなど市民参加で図書館運営を
A. 指定管理制度に基づきCCCにお願いする



石部 誠

ここを聞きました

- 水道料金の引き上げについて
- 高梁中央図書館について

水道料金の引き上げについて

石部 水道事業の統合と料金改定について

産業経済部長 2年間の統合延長を行い、5年間は従来どおり運営していく。その後5年間で水道料金の引き上げを検討する。

石部 水道料金は市民生活に大きく関わるものであり、一般会計からの繰り入れをしても負担軽減を行うべきではないか。

市長 消費税分については料金に反映させる。全体の予算や他の問題と合わせてトータルで考える。

高梁中央図書館について

石部 地域や図書館内外で活動する市民参加組織「図書館サポーターズ」の育成や、やる気のある

図書館長の公募をしてはどうか。
教育次長 サポーターの存在は心強いが、CCC業務とかぶるので、ごり押しではなく調整ができる範囲で研究をする。図書館長は今後お願いする方を探す方向だ。

石部 自信と誇りを持って働きたいという職員を育てることが必要ではないか。当初25人としていた職員を35人へ増員しているが、人件費や就業時間の切り詰めがあるのではないか。

教育次長 フレキシブルな雇用でパートや契約社員を使う。CCCが雇用形態を押し付けるのではなく、色々な対応ができるという事だ。

石部 図書館の運営は直営であるべき。CCCとの関係は再検討すべき。
教育次長 運営は指定管理者制度にのっとって行う。

妹尾 C C C（ツタヤ）は他の自治体で多くの問題を引き起こしており、図書館運営の指定管理者には不適格な会社である。

教育次長 問題については承知しているが、協定書で担保しており高梁市は大丈夫である。

妹尾 C C C（ツタヤ）佐賀県武雄市では新古書を購入したり、武雄鍋島資料（国指定重要文化財）を展示してあった蘭学館をレンタルビデオコーナーにしてしまった。また、神奈川県海老名市では不適切な選書が発覚している。さらに、独自の分類法（ライフスタイル分類）により書籍分類にも影響を及ぼしている。極めつけは高橋館長が『武雄市図書館の指定管理を受けたとき、私たちはド素人でした』と発言していることである。

これからの新たな問題が露呈するであろうと思われる。

図書館は高梁市の知の拠点であり、歴史・伝統・文化の蓄積の源であり原点である。図書館運営は直営で行い、司書をじっくり育て人材育成を行うことこそ高梁市の目指すべき方向ではないか。

教育次長 問題点は協定書で担保している。やってよかったと思われる図書館にしていきたい。

妹尾 高梁市の周辺地域の補助金を削って1億6000万円もの指定管理料を払って、駅周辺だけにぎわっても市の活性化にはつながらない。逆に周辺地域のコミュニティは壊れ自治の崩壊につながってしまう。

市長 木だけを見て森を見ないことではない。

- Q.** C C Cは指定管理者には不適格な会社である
- A.** 木だけを見て森を見ないことではない



ここを聞きました

妹尾直言

●図書館の指定管理について

- Q.** ふるさと納税の寄付額が15市中最低である。取り組みが不十分なのではないか
- A.** 今年中に返礼品を充実させて取り組む



ここを聞きました

内田大治

●ふるさと納税について
●農業施策について

ふるさと納税について

内田 ふるさと納税の寄付額が平成27年上半年（1月～6月）129万円、27件で県内15市中で最低だった。他の自治体は返礼品を充実させて多額の寄付金を集めている。本市においても地域の特産品を活用し地域経済に波及するよう返礼品を充実させるべきではないか。

政策監 返礼品の充実に向け準備を進めている。これまで3万円以上の寄付者に1割だった返礼品を今年中には5000円以上に3割とする。寄付金の使途として「まち・ひと・しごと総合戦略」の5基本目標、まちづくり協議会、NPO法人などを選択できるようにして役立てたい。

農業対策について

内田 国のTPP大筋合意を受けて、県は各自治体に対して農林水産物への影響について試算内訳や対策を示した。その内容についてどのように認識しているか。

産業経済部長 県内農林水産物主要8品目の生産額が最大10億5000万円減少すると試算している。輸入牛肉の増加による畜産農家への影響が懸念される。一方、米やブドウ、トマト等の作物については大きな影響はないと考えている。ただ、生産者の高齢化、担い手不足により長期的には減少傾向となる。そのために首都圏や海外への販路拡大により高収益につなげていく施策に取り組むことが必要だと考えている。

○議会を傍聴しませんか○
 本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない会議や議員の活動がよくわかると思います。



高梁城南高等学校 コラボレートX 第9弾 高梁市議会

今回の表紙を飾っていただいたのは、高梁城南高等学校デザイン科2年生の岡本咲奈(おかもとさな)さんの作品です。

和田町にある定林寺の風景を描いて下さいました。作品のポイントは本堂と鳥居のコントラスト。特に本堂の屋根を緻密に描く事と色使いが難しかったとのこと。いつものとおり将来の夢について何うと「人を笑顔にさせる絵が描きたい」と、はにかみながら答えてくれました。

これからの学校生活を通して、ますます人を笑顔にさせる絵に磨きをかけてほしいと思うのでした。



気になるスポット

The spot of Takahashi

有漢町の鈴岳神社では、戦時下の金属回収令により釣鐘を供出し、その釣鐘は溶かされて武器や弾薬となりました。戦争が終わりその空いていた鐘楼に下げられたのがこの松根釜です。日本には石油資源が少ないため、終戦間際にはこの釜で松の根を蒸し焼きし、油を精製、航空燃料を作っていました。戦後には不要となったこの釜が、釣鐘のかわりとして音を響かせました。新しい釣鐘が建立された今でも、戦前から戦後にかけての戦争（平和）遺品として敷地内に保存伝承されています。



編集後記

今年は選挙の年。選挙権は、1925年以前は高額納税者で25歳以上の男性のみにありましたが、1925年に納税要件がなくなり、1945年に女性も選挙権（男女20歳）を持つようになりました。そして今年7月の参院選から18歳へと年齢が引き下げられました。

資産や性別での差別がなくなるまでには長い歴史がありました。選挙に参加することで、皆さんの意見が政治に反映され、よりよいまちづくりにつながります。（石部 誠）

編集

議会広報調査特別委員会

委員長 宮田 公人
 委員長 宮田 好夫
 委員 森田 一夫
 委員 大森 誠生
 委員 石部 聡美
 委員 石井 芳生
 委員 石井 美生

☆ご意見はこちらまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

☎0866-21-0276